



こども文化教室 7/12~8/9

小中学生の夏休みを利用して、文化活動を体験する『こども文化教室』（町教育委員会主催）が、町公民館で開かれました。
町内で活動する文化サークルの会員が指導を務め、合計40人の子どもたちが囲碁やフラダンス、彫刻刀を使った木彫りの箱作り、七宝焼き、手話で歌おう、筆とお花で遊ぼうなど、各2回から7回にわたる教室に参加しました。子どもたちは楽しみながら、さまざまな文化にふれました。



障がい者福祉に関する提言書 7/28

新ひだか町障がい者自立支援協議会（穀本弘治郎会長）は、『新ひだか町障がい者福祉に関する提言書』を町に提出しました。
この提言書は、障がい者が地域で生活する上での課題を改善するために、同協議会内の「提言グループ検討会」が作成。4回にわたる検討会での協議のほか、同協議会に寄せられた当事者や事業者の声なども集約し、作成しました。
町では、この提言内容を町の障がい者福祉施策の推進に反映させていきます。



中学校体育大会出場生徒激励会 8/19

香川県で開かれる『全国中学校体育大会・ソフトテニス（女子ダブルス個人戦）』に出場を決めた静内第三中学校3年の對馬綾華さんと津島みつきさんペアが役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。
2人は「中学生最後の試合。悔いの残らないよう、すべての力を出し切りたい」と抱負を述べ、酒井町長は「健康管理に気をつけて、活躍を期待しています」と激励しました。



夏の日キャンプ 7/31~8/4

町教育委員会によるわんぱくチャレンジスクール『夏の日キャンプ』が、三石海浜公園オートキャンプ場や静内温泉の森キャンプ場などで開かれ、町内の小学生20人が参加しました。
期間中、自分たちで張ったテントで共同生活をしながら、夕食作りや潮干狩り、カヌー、川エビ釣りなどを体験。参加した子どもたちは、学校の枠を越えた交流やさまざまな体験を通し、夏休みの思い出を作りました。



第8回新ひだか夏まつり 7/25~8/15

『第8回新ひだか夏まつり』が7月25日夜、静内市街地で開幕し、8月15日までの期間中、町内各地でさまざまなイベントが繰り広げられ、多くの町民らが短い夏のひとときを満喫しました。
26日の和太鼓フェスティバルや阿波踊りパレードでは、迫力ある演奏や踊りに会場から大きな拍手が送られ、13日の静内川花火大会、15日の三石漁港花火大会では、浴衣姿の家族連れや帰省中の方々が夏の夜空を彩る美しい花火を楽しみました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



レキシントン市友好親善訪問団来町 7/13~21

昭和63年に姉妹都市提携を結んだアメリカ合衆国ケンタッキー州レキシントン市から、友好親善訪問団11名が来町しました。
友好親善訪問団の来町は今回が22回目。滞在中はホームステイをしながら、町内の中学校や高校での授業体験のほか、消防署やお寺などの施設見学、町外視察などを行い、日本文化を学びながら同世代の子どもたちや町民らと交流を深めました。



全道民謡決勝大会 8/10

静内こまどり民謡会の葛野ひなさん（静内二中3年）と柴田いずみさん（静内小6年）が小樽市で開かれた『全道民謡決勝大会』に出場し、葛野さんが少年少女の部で4位という好成績を納めました。



ちびっこサッカーフェスティバル 8/9~10

小学3年生以下の少年サッカー大会『第8回オオサワカップ・ちびっこサッカーフェスティバル』が静内川右岸緑地公園サッカー場で開かれ、熱戦を繰り広げました。



第4回ピュア活用検討会議 8/8

町や商工会、地元商店街などの代表で構成する『ピュア活用検討会議』がピュアプラザで開かれ、再委嘱された検討委員10人に委嘱状が交付されました。



パークゴルフ大会 7/22

町老人クラブ連合会三石支部の『パークゴルフ大会』が三石蓬萊山公園パークゴルフ場で開かれ、54名が参加し、心地よい汗を流しながら親睦と交流を深めました。